

医療・福祉に関わる出来事 ※1

聖隷福祉事業団の動き

この10年を振り返る

【SEIREI】

2011 2020



医療・福祉を取り巻く環境が大きく変化したこの10年。人と社会のニーズに応えるために、聖隷から多くの施設が開設されています。改めて、直近10年の動きをまとめました。

- ◎障害者権利条約 批准
- ◎消費税率5%から8%に引き上げ
- ◎介護・障害福祉従事者の人材確保・処遇改善法
- ◎地域医療介護総合確保促進法(地域包括ケアシステムを構築するために、医療、介護等関連法を横断的に改正)
- ◎労働安全衛生法改正(ストレスチェック及び面接指導の実施)
- ◎平成26年度診療報酬改定

2014

- EPA看護師候補者(3名)が受入れ以来初めて国家試験に合格
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業「聖隷巡回ヘルパーぐるり横須賀」(横須賀市)開設(後に廃止)
- 浜松市からの受託により、浜松市生活自立相談支援センター「つながり」開設
- 宝塚せいの里開設
- 淡路市より移譲を受け、特別養護老人ホーム「聖隷カーネーションホーム」(淡路市)を開設
- 地域密着型特別養護老人ホーム「和合愛光園和合サテライト」開設
- 障がい者就労支援施設「聖隷厚生園きらめき工房」(現「聖隷チャレンジ工房浜北」)開設

- ◎社会保障制度改革プログラム法
- ◎改正生活保護法
- ◎生活困窮者自立支援法
- ◎待機児童解消加速化プラン
- ◎マイナンバー法
- ◎障害者差別解消法
- ◎子どもの貧困対策法
- ◎改正精神保健福祉法
- ◎改正障害者雇用促進法

2013

- 沖縄県に聖隷初の施設、「聖隷訪問看護ステーションゆい」を開設。
- 指定管理者として「聖隷袋井市民病院」の運営開始
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業「聖隷巡回ヘルパーぐるり和合・初生」(浜松市)開設(後に廃止)
- 児童発達支援事業所「かるみあ」(浜松市)開設
- 介護付有料老人ホーム「結いホーム宝塚」開設

- ◎改正児童福祉法(「障害児通所支援」「障害児相談支援」創設)
- ◎障害者総合支援法
- ◎子ども・子育て関連3法(子ども・子育て支援法、認定子ども園法の一部改正法、子ども・子育て支援法及び認定子ども園法の一部改正法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律)
- ◎平成24年度診療報酬改定
- ◎平成24年度介護報酬改定
- ◎平成24年度障害福祉サービス等報酬改定

2012

- 障がい者就労支援施設「聖隷厚生園チャレンジ工房」開設
- 地域密着型特別養護老人ホーム「和合愛光園初生サテライト」・「森町愛光園天宮サテライト」開設
- 広域型特別養護老人ホーム「浜北愛光園3号館」増設
- 聖隷浜松病院、JCI(国際的医療機能評価機関)認証を取得(全国で5番目・関東以外で初)
- 聖隷三方原病院設立70周年、聖隷浜松病院設立50周年
- 2009年にEPA介護福祉士候補者で受入れた1名が、聖隷のEPA介護福祉士として初の国家試験に合格

- ◎改正高齢者住まい法
- ◎障害者虐待防止法
- ◎改正介護保険法(地域包括ケアシステムの5つの視点を明示)
- ◎改正障害者基本法
- ◎職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律

2011

- 「聖隷藤沢ウェルフェアタウン」(神奈川県藤沢市)開設
- 磐田市より移譲を受け、「このとり豊田保育園」(磐田市)開設
- 東日本大震災では、D-MAT、医療チーム、介護職員等の現地派遣、透析患者受け入れ、義援金・活動支援金寄託等の支援活動を実施
- EPA(経済連携協定)に基づくフィリピン看護師候補者の受け入れ開始

- ◎令和2年度診療報酬改定
- ◎新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大

2020

- 「複合施設聖隷このとり富丘」(磐田市)開設(幼保連携型認定子ども園、児童発達支援事業、訪問看護ステーションが併設)
- 「浜名湖エデンの園」新1・2号館完成
- 創立90周年記念式典が中止

- ◎消費税8%から10%に引き上げ
- ◎働き方改革関連法順次施行

2019

- 生活介護事業所「きらめき」(浜松市)の開設
- 「訪問看護ステーション油壺」の廃止
- 「磐田市南部地域包括支援センター」の受託運営開始
- 「磐田市南部障害者相談支援センター」の受託運営開始
- 「静岡県立浜松学園」の指定管理受託開始
- 「聖隷のあ保育園」(浜松市)開設
- 「福祉共同住宅ファーストステップ」(浜松市)の開設
- 「せいのけあプラザセンター佐倉」の開設
- 「聖隷かがやき」移転新築
- 「聖隷トライサポート和合」移転新築
- 「聖隷チャレンジ工房浜松学園」の開設
- がんと就労に関する両立支援制度導入

- ◎改正子ども・子育て支援法
- ◎改正生活困窮者自立支援法
- ◎平成30年度診療報酬改定
- ◎平成30年度介護報酬改定
- ◎平成30年度障害福祉サービス等報酬改定

2018

- 障害者相談支援事業所「聖隷はぐくみ浦安」開設
- 障害者相談支援事業所「聖隷はぐくみ北神戸」開設
- 「聖隷子ども園夢舞台」新築移転(「岩屋認定子ども園」より)
- 「浜名湖エデンの園」増築4号館竣工
- 12月19日、天皇陛下(当時)より「聖隷おおぞら療育センター」に御下賜金を拝受
- 新人事制度開始
- 「健康経営優良法人ホワイト500」認定

- ◎離職介護福祉士等届出制度
- ◎外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律(管理監督体制の強化と技能実習生の保護等)
- ◎育児・介護休業法
- ◎改正介護保険法

2017

- 「聖隷子ども園めぐみ」(浜松市)開設
- 「聖隷放課後クラブはなえみ森町」開設
- 「聖隷放課後クラブはなえみ高丘」(浜松市)開設(後に廃止)
- 障害者相談支援事業所「聖隷はぐくみ花屋敷」開設
- 「岩屋認定子ども園」(淡路市)開設
- 「聖隷チャレンジ工房カナン」(奄美市)開設
- 「聖隷デイサービスセンターゆい」(嘉手納市)開設
- 「聖隷びゅうあセンター磐田」開設
- 障害者相談支援事業所「聖隷はぐくみ松戸」開設
- 「このとり豊田保育園」が幼保連携型認定子ども園に移行
- 功労表彰規定改訂
- 新ガバナンス体制開始
- 育児休職、介護休職に関する規則改定
- 「ハラスメント防止規定」制定
- スポーツエールカンパニー認定

- ◎改正社会福祉法(社会福祉法人制度改革)
- ◎改正子ども・子育て支援法
- ◎男女雇用機会均等法改正
- ◎女性活躍推進法
- ◎改正児童福祉法
- ◎改正障害者総合支援法
- ◎改正児童福祉法及び児童虐待防止法
- ◎発達障害者支援法の一部を改正
- ◎がん対策基本法の一部を改正
- ◎平成28年度診療報酬改定

2016

- 「聖隷訪問看護ステーション浦安」開設
- 「聖隷かがやき」(鹿児島県龍郷町)開設
- 「聖隷放課後クラブはなえみ和合」開設
- 障害者相談支援事業所「聖隷はぐくみ」(淡路市)開設
- 「聖隷ケアプランセンター浅田」開設
- 「聖隷ケアプランセンター淡路第二」開設
- 「えるぼし」最高位の3段階目を取得

- ◎医療法の一部を改正する法律(地域医療連携推進法人制度)
- ◎改正個人情報保護法
- ◎平成27年度介護報酬改定
- ◎平成27年度障害福祉サービス等報酬改定

2015

- 桜ヶ丘保育園、ひかりの子保育園、わかば保育園が幼保連携型認定子ども園に移行、定員増実施
- 児童発達支援事業所「かるみあ豊田」(磐田市)開設
- 「聖隷めぐみ保育園」(浜松市)開設
- 「聖隷ケアセンターいなさ」(浜松市)開設
- ストレスチェック開始

※1「医療・福祉に関わる出来事」に記載されている法律は、法律中で施行日が異なるものもあるため、公布日で記載を統一しています。



聖隷淡路病院院長
くろだ かつや
黒田 勝哉

当院は1999年12月1日に国立明石病院岩屋分院から経営移譲を受け、当初は一般病棟102床で開設した。開設から10年間は岩屋の地で診療を継続したが、経営的にかなり厳しい状況の上、建物の老朽化も進み、2010年以後も同じ場所での診療を続けるかどうか大きな問題であった。

しかし、職員一人ひとりの10年間にあふぶ真摯な診療に対する姿勢は、地域住民や多方面からの強い信頼を築き上げた。そのおかげで2014年4月1日に現在の淡路市夢舞台へ新病院を建築移転することができた。地域のニ

新築移転から「新たな出発」へ

聖隷淡路病院



PICK UP TOPICS

- 2012 淡路市岩屋から夢舞台への移転となる新病院 起工式。
- 2013 黒田勝哉 院長就任。
- 2014 夢舞台の新病院 開院。産婦人科にて淡路市27年ぶりとなる分娩実施。
- 2015 地域包括ケア病床(40床)稼働。
- 2019 訪問リハビリテーション事業・訪問診療開始。

ズが強かった産科医療を開始し、医療機器の整備も進め、スタッフも充実させて着実に実績を積んできた。こうしたこの10年は、当院にとって大きな変革の10年となったと言える。

変革の10年、そして次なる10年へ

聖隷横浜病院



PICK UP TOPICS

- 2011 神奈川県主催「第5回かながわ子ども子育て支援大賞」受賞。
- 2015 心臓血管センター内科開設。保土ヶ谷区内急性期3病院地域医療連携協定締結。
- 2016 脳血管センター開設。循環路線バス(JR保土ヶ谷駅方面)運行開始。
- 2017 ドック・健診室開設。
- 2019 新外来棟(A棟)完成。

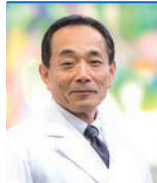
を運行開始した。2019年には念願のA棟(新外来棟)が完成し、新型医療機器を導入。さらに良質な医療を提供するため日々取り組んでいる。



聖隷横浜病院院長
はやし やすひろ
林 泰広

2003年の開設以来、地域貢献のために事業を展開してきたが、この10年で大きな変革を遂げた。救急機能を拡充、心臓血管センター内科、脳血管センターを開設し、24時間365日対応可能な体制を確立した。また、ドック・健診事業を開始、リウマチ・膠原病、人工関節、乳腺の各センターを開設するなど、新たな事業をスタートした。

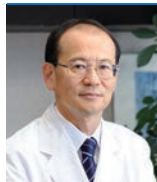
「土地に立つ病院」というハードを克服すべく、交通インフラを整備。横浜市交通局と連携を図り、JR保土ヶ谷駅方面の循環路線バス、京急井土ヶ谷駅方面の無料送迎バス



聖隷三方原病院院長
おぎ の かずのり
荻野 和功

聖隷の原点である三方原の地に開設された当院は2010年代も地域に求められる医療サービスの提供を進めてきた。最新医療機器の整備では静岡県西部で初となる手術支援ロボット(ダヴィンチS)、2017年にハイブリッド手術室を導入した。そして2019年には地域障がい者総合リハビリテーションセンターが開設し、障がい者スポーツにも対応したアリーナを併設している。新たな施設認定では静岡県で初めて基幹型の浜松市認知症疾患医療センターの認可や民間病院としては初めて高度救命救急センターの

認可を得ることができた。幅広い事業の展開は地域のニーズを捉えた結果である。採算が合わない事業であっても地域にとって必要なものは、時には先駆者として事業を展開し、使命感をもってその事業を継続している。その取り組みが認められ、聖隷とおぞら療育センターが聖隷として2度目となる御下賜金を賜った。



聖隷浜松病院院長
おか もとあきら
岡 俊明

2010年10月にスタートした第4期増改築工事「PROJECT NEXUS」は、約30年経過したC棟R1棟の建て替えによる免震対応、小児・周産期病棟、手術室等の機能拡充、セキュリティ強化、A棟の耐震補強、透析棟・厨房の移転改修、そして、医局管理棟の建築など多くの設備整備を行い、2018年2月に完工した。工事期間中も高精度放射線治療装置(TrueBeam Sx)の導入、手術支援ロボット(ダヴィンチXi)や経カテーテル大動脈弁治療(TAVI)をはじめとした低侵襲治療等、先進的な医療の充実に

も積極的に取り組んできた。この10年、塚常雄先生、鳥居裕一先生、岡俊明先生と院長がバトンタッチされてきたが、2012年11月に国際的な医療評価機構「JCI」認定(日本で5番目)を取得し、その後2度の認証更新を行うなど、大規模な病院変革のなか、職員が一丸となって医療の質向上を目指し、安心・安全な医療を提供してきた。

変化する医療ニーズを
変わらぬ使命で提供し続ける

聖隷三方原病院



PICK UP TOPICS

- 2012 静岡県西部で初となる手術支援ロボット(ダヴィンチS)の導入。
- 2013 静岡県では初となる基幹型の認知症疾患医療センターの指定を受ける。
- 2015 高度救命救急センターの指定を受ける。
- 2018 聖隷おぞら療育センターが御下賜金を賜る。
- 2019 地域障がい者総合リハビリテーションセンターを開設。

次からの聖隷の原点である三方原の地を誇りに、地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院運営を心がけていく。

聖隷浜松病院



PICK UP TOPICS

- 2011 EPA(日本・フィリピン経済連携協定)に基づき、看護師候補者の受け入れ。
- 2013 血管造影室と手術室の両方の機能を持つ「ハイブリッド手術室」新設。
- 2016 手術支援ロボット ダヴィンチXiを導入。前立腺がんの手術を開始。
- 2018 静岡県より、災害拠点病院の指定を受ける。
- 2020 最新の放射線治療装置「サイバーナイフ」を、静岡県内で初導入。

高度急性期医療と医療安全をfusion
県西部地域医療を職員一丸で担う

※JCI: Joint Commission International



聖隷袋井市民病院院長
みやもと つねひこ
宮本恒彦

2013年5月、袋井、掛川を中心とした中東遠地域の医療再編に伴い、聖隷福祉事業団が袋井市より指定管理を受託し当院は誕生した。前身の旧袋井市民病院は400床の急性期機能を有した総合病院であったが、医師不足と経営状況の悪化により高度医療、救急医療を中心とした急性期の診療機能を中東遠総合医療センターに集約し、当院はその受け皿として後方支援機能の役割を担うこととなった。

開院当初は、1名の常勤医師と築30年以上経過し、老朽化した旧袋井市民病院の1病棟（一般病棟）のみの稼働であったが、その後医師や看護師等の採用、増改築により現在では計画通りの3病棟（一般、療養、回復期）150床が稼働できている。病態に合わせ、継続して当院で診療する患者は療養病棟で、在宅療養を積極的に進める患者は一般・回復期病棟で、というように運営している。

さらに亜急性期や慢性期の医療と在宅医療との橋渡しができるよう、訪問リハビリテーション事業を行っている。今後も地域社会の期待に応えるため、引き続き機能の充実を図っていく。

袋井市立 聖隷袋井市民病院



PICK UP TOPICS

- 2013 聖隷福祉事業団が指定管理者受託(5月)。6月より保険診療開始。
- 2014 増改築工事完了。一般病棟、リハビリ訓練室等移設。療養病棟開設。
- 2016 回復期病棟開設。院内保育所開設。
- 2018 指定管理者受託期間更新(第二期指定管理)。
- 2019 訪問リハビリテーション事業開始。電子カルテ導入。

利用者の声を大切に、地域に信頼される病院を目指して



聖隷佐倉市民病院院長
さとう しんいち
佐藤慎一

2010年に第2期工事が完成し、手術室の移転・増室と放射線治療を開始した。手術件数の増加とがんの集学的治療体制の整備を図り、現在の病院の土台が形成される節目の年となった。その後も当院を必要とする利用者は増加を続け、2014年完成の第3期工事では外来・透析センターの拡張と健診センターの移転を行い、2019年完成の第4期工事では念願であった新病棟の増築に加え、手術棟の増築、リハビリテーション室・健診センターの拡張を行った。開設時200床で始まった稼働病床数は338床

になり、外来患者は多い日に1000人が受診し、手術件数も年間2600件を超えるまでになった。

地域のニーズにあわせて設備投資を行ってきたが、ここまで発展できたのは、笑顔で大切にされた組織風土づくり「笑顔プロジェクト」を掲げ、患者と医師、利用者と職員、職員同士の笑顔でのコミュニケーションを大切にできた結果だと考えている。地域住民・職員とその家族の「健康と笑顔」を支える病院であり続けたい。

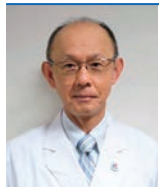
聖隷佐倉市民病院



PICK UP TOPICS

- 2012 佐藤慎一院長就任。笑顔プロジェクト開始。
- 2014 第3期工事(外来・透析センター拡張、健診センター移転)の完成。
- 2018 電子カルテシステムの運用開始。
- 2019 せいでいケアプランセンター佐倉を開設。第4期工事(新B号館・手術棟増築、健診センター拡張)の完成。

積極的な設備整備を図り、利用者と職員の笑顔を大切にしたい10年間



保健事業部長
ふくだ たかお
福田崇典

この10年、質の向上及び、利用者サービスの向上に努めた。2013年度、「保健事業効果の見える化」の手段として「統計情報課」を設立し、事業所特性に応じた健診の提供が可能となった。また、保健事業部全ての施設で情報セキュリティマネジメントシステムのリティマネジメントシステムの認証取得が完了、情報管理において質的な利用者サービスの向上を展開することになった。2014年度、人間ドックのインターネット予約を開始、24時間予約が取れる体制とした。2016年度、健康経営を進める企業に対し、健康経営推進を支援した結

果、その企業が「健康経営優良法人2017」の認定を受けることができた。2017年度、保健指導品質管理内部監査が10年目を迎え、継続的に保健指導の質の向上に取り組んでいる。2018年度には、オプション検査として乳房トモシンセシス(3Dマンモグラフィ)を保健事業部3施設全てで実施可能となり、質の高いサービスの提供に取り組んだ。今後は、時代の変化を先取りした事業展開とともに、質の高いサービスの提供を継続していく。

保健事業部



PICK UP TOPICS

- 2011 地域・企業健診センター 発足。
- 2013 聖隷健康サポートセンター Shizuoka と 聖隷静岡健診クリニックが統合。
- 2015 地域・企業健診センターの全検診車の撮影装置デジタル化が完了。
- 2016 聖隷健康診断センターにてMCIドック、MCIスペシャルドック開始。
- 2019 聖隷予防検診センターのレディースフロアをリニューアル。

さらなる質の向上に努め、利用者が安心して選び続ける保健事業部を目指す



浜松市リハビリテーション病院院長
ふじしま いちろう
藤島一郎

2008年、浜松市から運営を受託。1病棟44床でスタートし、2010年7月には当時の許可病床180床をフル活用、2014年4月には念願の新病院で5病棟225床へと増床し、リハビリテーション医療の環境を整え現在に至る。この間、生活を支える医療を基本とすると共に「えんげと声」「スポーツ医学」「高次脳機能」の3センターを設置、多職種による専門診療も「浜リハの顔」とした。患者への切れ目ない支援のため、訪問や通所リハビリテーション事業も開始した。また、病院機能評価の認証を

受け医療の質の確認と向上、地域の急性期との連携、さらにリハビリテーション医療機関との連携強化のための通称「西リハ会」「静岡県リハ会」を立ち上げ運営、常に前進してきた。今後も地域に必要とされ続けるために、先駆的なリハビリテーション医療にも邁進する。

2011年から「いきいきトレーナー養成」に注力し、市民による市民のための介護予防活動を実現。2018年の厚労省「第7回健康寿命ののばそうアワード」で受賞したことは、地域貢献活動の大きな励みとなっている。

浜松市リハビリテーション病院



PICK UP TOPICS

- 2011 「えんげと声のセンター」、翌年「スポーツ医学センター」設置。
- 2014 新病院建築。7月電子カルテ導入。10月許可病床225床の活用。
- 2016 病院機能評価認定取得。「高次脳機能センター」設置。
- 2017 訪問リハビリテーション事業開始。
- 2019 通所リハビリテーション事業開始。ロボットリハビリテーション導入。

地域の回復期リハ医療の中核を担い、時代とともに変革を続ける



高齢者公益事業部長
ひらかわ けんじ
平川 健二

高齢者公益事業部

2011年3月11日の東日本大震災は、当事業部にも大きな影響を及ぼした。2010年6月に着工した浦安エデンの園増築棟の工事は、液状化現象による基礎杭の打ち直し等、1年以上の工期延長となった。2011年4月に開設した藤沢エデンの園では、震災後の数か月は見学者が少なくスタートを強いられた。2017年3月に着工した浜名湖エデンの園の増築工事は、4号館の増築を経て、2020年5月に新1・2号館がグランドオープンした。新1・2号館は建築基準法の基準値に対して1.5倍の耐

震強度があり、厨房機器に非常電源を備える。2020年度以降に検討を開始する宝塚、松山、油壺の各エデンの園の建物更新についても、自然災害への備えはもちろんのこと、さらに快適な住環境の提供をめざす。

2025年には団塊世代が後期高齢者となり、高齢者の住まい及び介護へのニーズは多様化がすすみ、市場規模は拡大すると考えられる。これからの、高齢者ひとりひとりを尊重し、自由で快適な生活の実現を支援するサービスを提供し続けたい。

高齢者の住まい、介護のニーズに応える
有料老人ホームであり続けるために



PICK UP TOPICS

- 2011 聖隷藤沢ウエルフェアタウン開設。
- 2013 浦安エデンの園増築棟竣工。
- 2017 NHKドキュメント72時間「海が見える老人ホーム」(油壺エデンの園)放映。
- 2020 浜名湖エデンの園新1・2号館竣工。



在宅・福祉サービス事業部長
つばた よしのぶ
津幡 佳伸

在宅・福祉サービス事業部



聖隷びゅあセンター磐田



聖隷こども園めぐみ



宝塚せいれいの里

この10年は地域で医療・福祉サービスの提供体制を完結するため、地域包括ケアシステムの構築ビジョンを国が提言したことからスタートした。介護保険制度が成熟する中、各地域のニーズに応えた結果、高齢者だけでなく障がい福祉や保育、生活困窮者自立支援等、困難を抱える方々への支援領域を大きく拡大してきた10年であった。

高齢者福祉においては各市町村の計画に定める形で新しいタイプの有料老人ホーム、ケアハウス、特別養護老人ホームを総合的に整備した宝塚せいれいの里の創設や淡路市より聖隷カーネーションホームの移譲等、広域型施設の運営開始から、初生、森町、和合での地域密着型特別養護老人ホームの創設など小規模施設の整備も行った。在宅事業においては2013年に、聖隷では初めての進出となる沖縄県に聖隷訪問看護ステーションゆいを開設した。また、地域での対応力を高める為、点在

していた事業を集約し三方原、いなさ、宝塚、高丘、津名、沖縄等で「ケアセンター化」を推進した。

障害福祉の領域では国連の障がい者権利条約批准に向け、障害福祉サービスが充実する中、聖隷の事業も大きく拡大した。障がい者の社会参加を促進する為就労支援施設の聖隷チャレンジ工房を4ヶ所和合、浜北、奄美、磐田開設した。また、障がい児への支援、相談から通所支援まで行う、聖隷こども発達支援センターからみあ、のぞみ園、聖隷かがやきが整備された。また学齢期の児童を支援する放課後等デイサービスを和合せいれいの里や森町愛光園でも開始した。2019年には静岡県より青年期の発達障がいを持つ利用者が住みながら働く準備をするための静岡県立浜松学園の受託を開始した。

保育事業においては、子ども子育て支援法の制定、並びに国の待機児童の解消の為に緊急プランが提言される中、聖隷でも聖隷こども園めぐみ

み、聖隷こども園こうのとり富丘の新設、聖隷こども園夢舞台、聖隷こども園こうのとり豊田の移譲、事業所内保育所聖隷めぐみ保育園、小規模保育所聖隷のあ保育園の開設、浜松市内の保育園の増築による定員増が次々となされ、この10年間で定員が倍以上の2161人となった。また、新制度に合わせ保育園を認定こども園に移行することも進めた。

新たな領域の開拓として2013年に制定された生活困窮者自立支援法に基づき、浜松市生活困窮者自立支援事業を受託し、制度の狭間で困っている方の支援や障がい者基幹相談支援事業等を地域の他法人と共同事業体として運営することも開始した。

現在、社会福祉法が改正され社会福祉法人には制度にない地域課題に取り組みことが求められており、今後に対象者の拡大や、新たな課題に挑戦する組織を目指していきたい。

PICK UP TOPICS

- 2011 こうのとり豊田保育園移譲。聖隷ケアセンター三方原開設。
- 2012 初生サテライト、天宮サテライト開設。浜北愛光園増築。聖隷チャレンジ工房開設。
- 2013 有料老人ホーム結ホーム宝塚開設。児童発達支援事業所からみあ開設。訪問看護ステーションゆい開設。
- 2014 宝塚せいれいの里開設。聖隷カーネーションホーム移譲。浜松市生活自立相談支援センターつながり開始。
- 2015 聖隷ケアセンターいなさ開設。聖隷めぐみ保育園開設。
- 2016 聖隷こども園桜ヶ丘増築。聖隷訪問看護ステーション浦安開設。
- 2017 聖隷こども園めぐみ、聖隷びゅあセンター磐田開設。聖隷こども園わかば、ひかりの子増築。
- 2018 聖隷こども園夢舞台移譲新築。浜松市基幹相談支援センター開設。
- 2019 静岡県立浜松学園受託開始。聖隷かがやき移譲新築。
- 2020 聖隷こうのとり富丘開設。浜松市中障がい者相談支援センター開設。

法人本部



PICK UP TOPICS

- 2011 東日本大震災への支援活動。
- 2012 EPA介護福祉士初合格。
- 2014 ANPIC導入開始。山本理事長浜松商工会議所副会頭就任。
- 2015 新社会福祉法人会計基準へ移行。
- 2017 改正社会福祉法の施行。
- 2018 健康優良法人ホワイト500を社福として初認定。人事制度運用開始。

公益性の高い社会福祉法人としての
ガバナンスの確立



総務・情報・コンプライアンス担当 総務部長・総務情報システム部長 彦坂 浩史
病院経営支援担当 日下部 行宏
人事企画担当・人事企画部長 鎌田 裕子
財務・環境・聖隷浜井市民病院・サポートセンター・Shizuoka担当 青木 善治

聖隷福祉事業団の大規模な組織を一層の強みとできるよう、制度改革対応や人材採用・育成、資金調達、病院経営支援など「経営力の強化」とガバナンスの整備など「社会福祉法人としての公益性」の両立を図る本部機能を追求してきた。人材確保を最重要課題として、地域志向に応えた「新人専制度」を導入した。EPA介護福祉士候補者の支援体制を充実し国家試験合格者を多数輩出。障がい者雇用、再雇用制度など多様な働き方を推進した。東日本大震災を機にBCPの観点から広域防災体制の整備、安否確認システム・AN

PIIC」の導入、外部データセンターの本格的な利用を開始。聖隷全体の事務効率を高めるため自己申告書、勤怠、人事給与システムなどの電子化を推進した。新会計基準への準拠や社会福祉法改正に対応した新たなガバナンス体制、コンプライアンス経営の強化、情報公開などを進めた。女性活躍や健康経営の取り組みにより、えるぼし三つ星認定や健康優良法人ホワイト500認定など高い外部評価を得ることができた。社会福祉法人への期待が高まる中、法人として聖隷の価値が高まる様に本部機能の充実を図っていく。